



開物成務

令和 8 年 9 月 2 日 (水) 発行

校長 大越 泰子

学校が再開しました

8月31日(月)より、学校が再開しました。44日間の夏休みを経て久しぶりに会った子どもたちは、日に焼けたり、背が急に伸びていたり少し大人びたように感じます。たくさんの荷物を持ちながら、「おはようございます!」と遠くから元気にあいさつをしてくれる子どもたちに私も元気をもらっています。体育館での全校朝会では、整然と入場し、静かに待つ高学年の姿に、下級生も自然にならって待っています。心地よく締まった雰囲気の中で、学校がスタートしました。

近年小学校の夏休みの宿題は私たちの頃に比べると少なく、「挑戦しよう」の一覧から一つは取り組もうと呼びかけています。しかし、初日の子どもたちは大きな荷物を持って登校しました。さっそく各担任が廊下に作品を並べ展示しています。どれも保護者の皆様が声をかけ共に協力して下さった力作です。作品を前に、友達と思いい出を話している姿はとても嬉しそうです。

きれいな環境で学校再開できました

学校再開直前の8月29日(土)に、本校のコーディネーター小砂さんの呼びかけにより、自治会の方々による環境整備が行われました。朝から小雨が降り、「どれくらいの方が集まってくださるだろうか」と心配していましたが、「これくらいなら、草刈り日和でしょ。」と言ってくださる心強い方々を始め、町長、教育長を含め総勢52人が参加してくださいました。教員では手が届かなかった高い枝の剪定や、からまったツル、グラウンドの雑草など、2時間の作業で見違えるほどきれいになりました。ありがとうございました。



開成小版 お元気三猿で行きましょう!

朝会で「三猿」の話をしました。「三猿」で有名なのは日光東照宮の「見ざる 言わざる 聞かざる」ですが、この夏行った秩父神社でみつけたこんな三猿の話をしました。



この三猿は「よく見て よく聞き よく話す」を表し「お元気三猿」と言われています。東照宮も秩父神社も徳川家とゆかりの深い神社ですが、子育てについての考え方の違いがとても面白く感じました。目を見開き盛んに話しかけている子猿の姿が、開成小学校の子どもたちと重なりました。これからの4か月は様々な行事や学習が予定されています。ぜひ「よく見て よく聞き よく考える」開成小学校版お元気三猿でいきましょう。

嬉しいご連絡をたくさんいただきました

8月22日に開成町の納涼祭りが行われました。その際に本校の6年生の児童10名ほどが開成町の水のPR活動を手伝ってくれたと、翌月曜日に複数の方からお礼のお電話をいただきました。また「嬉しかったので」とお手紙をくださった方もいらっしゃいました。「開成町の水は地下80mからくみ上げているおいしい水ですよ。」と声をかけながら配ったり、お客さんと乾杯の声をかけ合ったりと、開成小の子の素直さ人懐っこさが祭りを盛り上げてくれたそうです。学校外の子どもの活躍がうれしかったので朝会の際に、全校に紹介しました。6年生は総合的な学習の時間に「開成町のよさをPRしたい」という願いをもって活動しています。今後の活動にもつながっていくといいですね。